

平成30年10月19日(金) 13031号



株式会社 日刊金属

本社 〒530-0043
 大阪市北区天満2丁目12番3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL (06) 6353-7831 (代表)
 FAX (06) 6353-7832

東京支社 〒140-0001
 東京都品川区北品川1丁目9番7号
 トップレーム品川1015
 TEL (03) 6869-9983 (代表)

E-Mail info@nikkankinzoku.co.jp
 WebPage https://nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 72,000円(税別) データ12か月 84,000円(税別)
 6か月 36,000円(税別) 配信料 6か月 42,000円(税別)

8月非鉄金属等需給動態統計

スクラップ消費量

銅・銅合金は前年比減少続く

経済産業省資源エネルギー庁が発表した2018年8月の非鉄金属等需給動態統計によると、スクラップの国内消費量は銅・銅合金が前年同月比で減少、7月に続いてマイナスだった。

銅スクラップは4万0,519トンで、前年同月比2.2%減少。主要用途の伸銅品は8.9%減の2万7,513トン、電線は5.6%増の9,802トンだった。銅スクラップの消費量は前月比でも18.7%減少した。

銅合金スクラップは7万4,971トンで、1.5%減少。伸銅品向けは1.0%減の3万5,470トン、一方、精錬は1.8%増の3万6,460トンだった。銅・銅合金ともスクラップ消費は伸銅品用途が低迷した。

鉛スクラップは1万3,740トンで、12.5%のプラス。主要用途の精錬が7.8%増加、再生も4.0%増と堅調だった。

非鉄金属等需給動態統計調査
 18年8月スクラップ国内消費量

区分	消費量(トン)	前年同月比(%)
銅	40,519	▲2.2
電線	9,802	5.6
伸銅品	27,513	▲8.9
銅合金	74,971	▲1.5
伸銅品	35,470	▲1.0
製錬	36,460	1.8
鉛	13,740	12.5
再生	2,049	4.0
製錬	10,997	7.8
亜鉛	2,566	▲14.2
錫	36	▲51.8
ニッケル・ニッケル合金	71,934	▲7.8

▲はマイナス

アルミニウム地金

アルミニウム原料

熟練ポット炉技術で歩留まりUP!

井関金属株式会社

代表取締役 井関親亮

〒587-0021 大阪府堺市美原区小平尾 407

☎ 072-361-3333 fax 072-362-7667

亜鉛スクラップは2,566トンで、14.2%のマイナス。その他は前年比で増加したものの、無機薬品向けが42.3%の大幅減だった。

錫スクラップは36トンで、前年同月比51.8%のマイナス。このほか、ニッケル・ニッケル合金のスクラップ消費量は特殊鋼向けが減少に転じたことで、7.8%減の7万1,934トンだった。

社会の発展とその未来に
 テクノロジーで対応する

KYOWA

地球にも、人にもやさしい KYOWA のエコ電線

タイシガイセンEM 600V EEF/F

http://www.kyowadensen.co.jp/

 協和電線工業株式会社

KYOWA ELECTRIC WIRE INDUSTRY CO., LTD.

〒581-0026 八尾市曙町1丁目7番

TEL (0729) 91-0818 (代) FAX (0729) 91-4470

GSユアサ

北海道風力発電実証事業

大容量蓄電池装置を受注

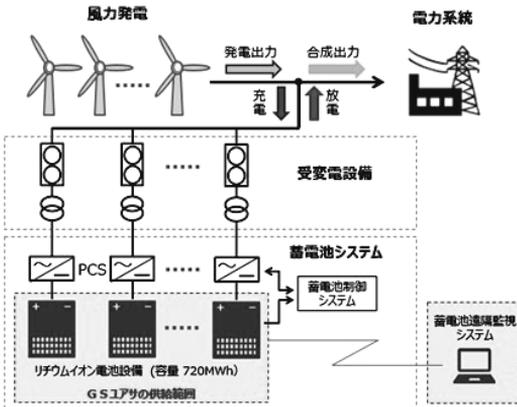
GSユアサ(村尾修社長)は、北海道で実施予定の「風力発電のための送電網整備の実証事業」で、大容量蓄電池設備を受注した。発注先は、同実証事業の蓄電池システム建設工事の設計・調達・建設(EPC)業務を遂行する千代田化工建設株式会社。

「風力発電のための送電網整備の実証事業」は、北海道北部風力送電が実施主体として計画。天塩郡豊富町に建設予定の北豊富変電所で、出力24万キロワット(240MW)・容量72万キロワット時(720MWh)の蓄電池設備の設置工事を2020年度から開始、22年度の稼働を予定している。

GSユアサは、今回納入予定のリチウムイオン電池に、内部抵抗の小さい高エネルギータイプを採用。◇蓄電池設備のコンパクト化と長寿命化を実現◇変動吸収運転に重要な最適な充電率管理が可能。◇充放電による発熱を抑え、エアコンの省電力化を実現。――などの特長を持つ。

大容量蓄電池設備で使用するリチウムイオン電池は、同社グループのリチウムエナジー・ジャパンが製造する。

GSユアサは、これまで培ってきた信頼性の高い技術力および長期間のサポート力が評価され、リチウムイオン電池設備の採用に結びついたと強調した。



受注した大容量蓄電池設備

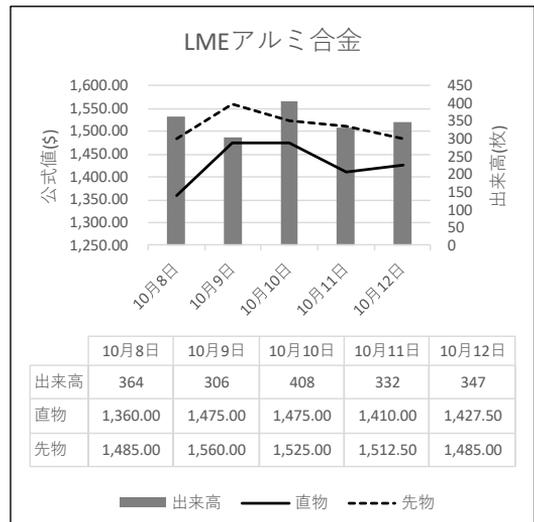
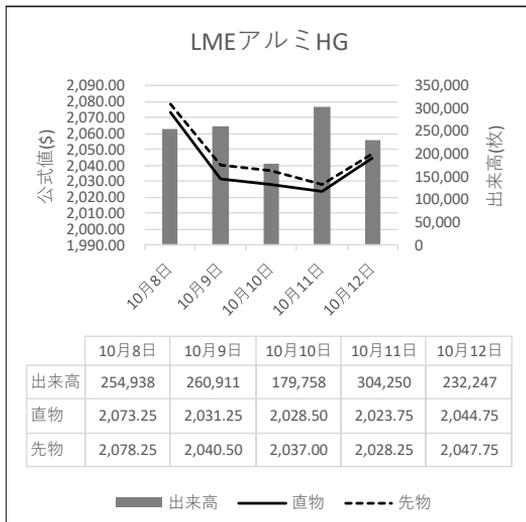


鉛滓・鉛管板屑

株式会社 國樹商店

〒556-0011 本社 大阪市浪速区難波中1-16-8
電話 06-6649-0045 代表
〒556-0011 工場 大阪市浪速区稲荷1-11-5
電話 06-6561-7331~2

LME公式値週間推移 10月8日~12日(現地)



銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役

橋本 健一郎



9月のアルミ概況および10月の見通し (4)

【アルミニウム 2次合金、同合金地金等生産実績】

前年比微増、5万9,914 t、11カ月連続プラス。
出荷は+1.8%、6万2,865 t、11カ月連続プラス。

【輸出】

アルミ新地金が前年比+21%の99 t。二次合金が-25.6%の1,199 t。スクラップが-12.8%の6,185t。アルミ缶が+17.3%の5,687 t。

【輸入】

アルミ新地金が前年比-14.8%の12万5,231t。二次合金が+4%の10万8,036t。スクラップが+119.5%の1,282t。合金スクラップが-13.3%の3,249t。

【見通し】

- 自動車は生産が-2%。国内販売台数が前年比-3.1%。生産、販売とも2カ月連続マイナス。販売のマイナス幅が拡大しておりこれが続くかどうか今後注目。
- 住宅着工の動向については、前年同月比+1.6%と3か月ぶりプラス。今後プラス傾向が続くのか今後の動向に注目。

・アルミ圧延・押出品生産数

板類・押出生産合計は前年比-6.6% 8カ月連続マイナス。板類、8万6,222 t ▲8.6%、8ヶ月連続でマイナス、押出類、5万8,856 t ▲3.6%、3ヶ月連続でマイナス。

今後更にプラスが続くかの動向に注目。

【アルミニウム 2次合金、同合金地金等生産実績】

前年比微増、5万9,914 t、11カ月連続プラス。出荷は+1.8%、6万2,865 t、11カ月連続プラス。今後更に

プラスが続くか、動向に注目。

- アルミ輸出は前月に続き地金はアメリカの輸入規制に伴う地金高思惑を受けて増加、二次合金、スクラップは内需用途から減少。アルミ缶は猛暑による大量発生 of 荷余り感から増加。

- アルミ輸入は円安から地金は減少、二次合金、スクラップは中国塊の割安感から増加。合金系は減少。

【スクラップ景況予想】

流通在庫は相変わらず中国塊の下落を受けてスクラップも連れて下落しており、売り玉が多いものの買い手は少なく飽和状態。需要面に関しては前月に続き自動車の販売が低迷していること、輸入地金の下落、関西地方の大型台風による一部メーカーの荷受け停止を受けて荷余り状態になるのではないかと

【LME・為替予想】

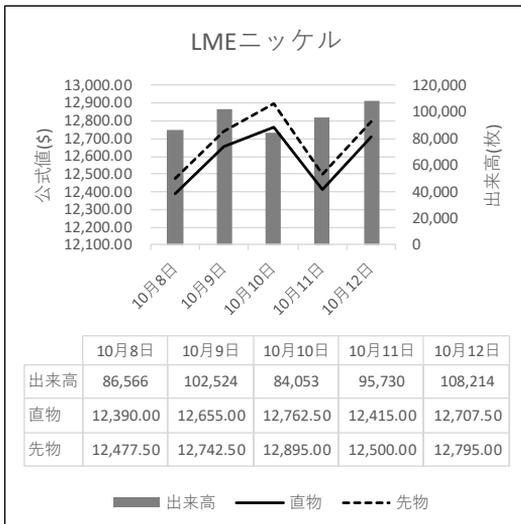
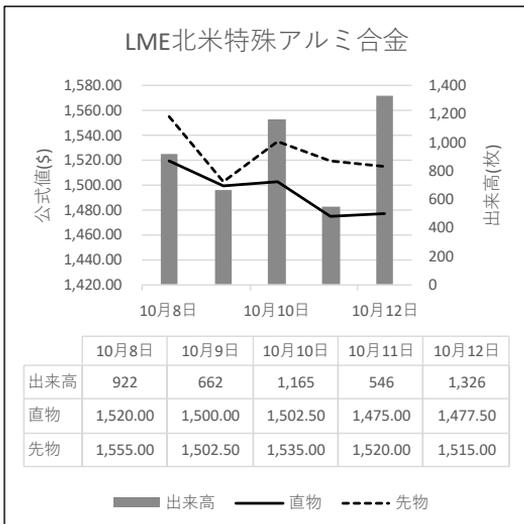
今月は米中貿易戦争とLMEアルミ在庫の動向に左右される。

米中貿易戦争に関しては2,000億ドル相当の中国製輸入製品に対して25%の上乗せ関税を課す予定を10%に減少させ、中国高官との交渉を検討するなどの譲歩があったが結果交渉は流れ、また追加関税に言及している事から治まる気配はないのではないかと

LME在庫に関しては長い間壁であった100万tは切ったもののルサル制裁の実施デッドラインを10月23日から11月12日に延長することを米国が決定したこと、西オーストラリア・アルコアのアルミナ精製所のほぼ2か月にわたるストが解決したことから順調に減少しないのではないかとこれらを踏まえた9月アルミ銅価格は、米中貿易戦争で緩和に向かう何かしらの話し合いや政策が出て、アルミ在庫が順調に減少した場合2,200ドル付近。両条件が揃わなかった場合2,000ドル付近まで下落すると予想。

ドル円値は111円~114円(TTM)台を予測。

スクラップ購買価格に関しては0~+5円程度と予測している。



故銅市況

18日入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場の直物前場売値が、前日の6,202.00ドルより47.00ドル高の6,249.00ドル。この日の直物後場買値は、前日の6,209.00ドルより17.50ドル安の6,191.50ドル。カーブ取引は前日の6,215.00ドル～6,216.00ドルより3.00ドル高の6,218.00ドル～6,219.00ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（10月限）は、前日の277.05より0.35セント安の276.70セント。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（11月限）は、前日の5万0,510元より280元安の5万0,230元。

故銅直納問屋筋の平均値頃感（単位は千円）

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が611～616、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは592～597、並銅は531～536、込銅（高品位＝約97％）は491、セバは525～530。コーベルは要り用筋で456、それ以外は448ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋411、それ以外394～419どころの値頃。並青銅鋳物削粉は461～466どころ。

小口市中相場（1トン前後）では、ピカ線が594～599、上銅新しくずが581～601、普通上銅が548～558、2号銅線が554～564、並銅が519～520、込銅（90-93％）が478～445、下銅が304～354、セバが492～502、コーベルが448～488、黄銅棒地が444～449、黄銅削粉が352～399、黄銅ラジが401～409、交叉ラジが335～346、黄銅銅鋳物が370～377、送りが170～185、上青銅鋳物が471～487、並青銅鋳物が463～476、上青銅鋳物削粉が468～487、並青銅鋳物削粉が461～465どころ。

18日の東京為替市場TTSレートは、前日の113.41円より0.29円の円安ドル高で1ドル＝113.70円。NYカーブLME先物比は26.00ドル高。18日に入電したLME銅相場のセツルメントは6,249.00ドル。この値と18日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の74万3,000円より7,000円高の75万円。この日、電気銅建値は74万円に据え置かれた。

為替動向

17日から18日午前にかけての外国為替市場で円相場は1ドル＝112円台後半の取引となった。

18日午前の東京外国為替市場、午前9時時点の気配値は、1ドル＝112.60円～112.63円、前日の17時時点に比べ0.37円の円安・ドル高。

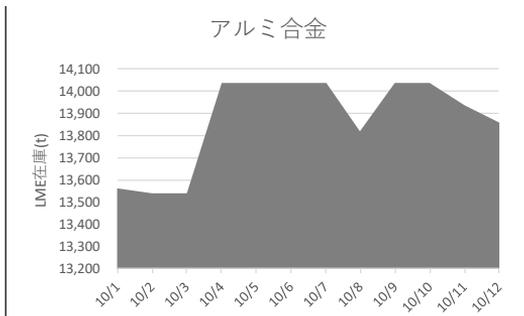
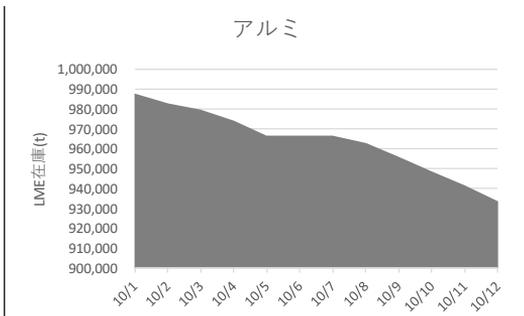
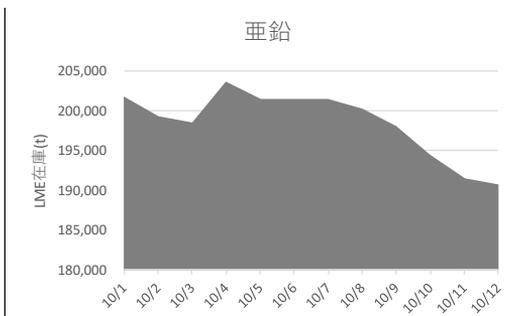
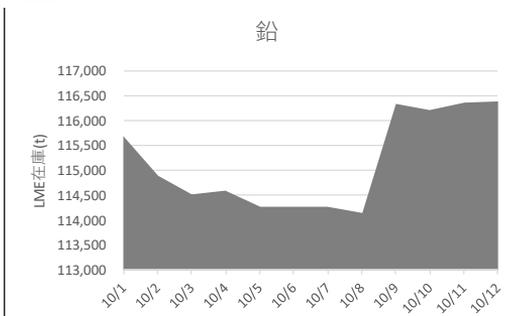
17日のロンドン外国為替市場、現地16時時点は1ドル＝112.00円～112.10円、前日の同時刻比0.20円の円高・ドル安だった。

同日のニューヨーク外国為替市場は、前日比0.40円の円安・ドル高、1ドル＝112.61円～112.71円で取引を終了した。

米連邦公開市場委員会（FOMC）の9月開催時の議事要旨が公表された。会議では、雇用の極大化と2%のインフレという目標に向け、引き続き現在の利上げが適切との意見が出た。議事要旨の公表を受け、利上げが想定以上に長引くのではないかと観測から、米長期金利が上昇。日米金利差の拡大をにらんだ円売り・ドル買いが進んだ。ニューヨーク市場のドル円レートのレンジは、112.02円～112.68円だった。

東京市場でも、米長期金利の上昇を受けた円売り・ドル買いが先行した。また、米半期為替報告書で中国に対する「為替操作国」認定が見送られたことはドル買いの支援材料との指摘もあった。

LME認定倉庫在庫量推移 10月1日～10月12日（現地）





LME銅は反発 中国銀行融資の市場予測上回る伸びを好感
カーブ取引も小幅で反発 COMEX銅相場は小幅統落 SHFE銅相場も統落
LME非鉄相場はまちまち アルミは3営業日の統落 鉛は下落およそ3%安
LMEアルミ在庫はおよそ8万6,000トン積み増し

18日入電の海外相場は、銅の直物が、LME（ロンドン金属取引所）の公式値ベースで、前日の6,201.75ドルより46.75ドル高の6,248.50ドル。3か月物も、前日の6,212.00ドルより34.00ドル高の6,246.00ドル。LME公認倉庫の銅在庫量は、前日の16万4,000トンより約3,000トン減のおよそ16万1,000トン。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（10月限）は、前日の277.05セントより0.35セント安の276.70セント。カーブ取引は、前日の6,215.00ドル～6,216.00ドルより3.00ドル高の6,218.00ドル～6,219.00ドル。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（11月限）は、前日の5万0,510元より280元安の5万0,230元。

中国の銀行融資が市場予想を上回る伸びで、人民元建て1兆3,800億円の純増となった。これを好材料に銅相場は概ね好調に推移。ただ、実需筋は依然弱含み。殊に最大消費国中国で製錬所の生産能力が増強されており、これが相場を圧迫、上げ幅は限定された。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

1トン程度・置場・現金・キロ当たり円

関東地区(10月前半)

2S=194円～202円、63S=191円～195円、アルミホイール(1P)=186円～191円、ビス付サッシ=140円～144円、エンジンコロ=146円～148円、込合金(機械鋳物)=142円～144円、缶プレス(ソフト)=109円～123円。

関西地区(10月前半)

2S=189円～197円、63S=187円～191円、52S=199円～203円、印刷版=192円～197円、アルミホイール(1P)=175円～180円、ベースメタル=199円～204円、機械鋳物=146円～151円、ドライ粉=118円～120円、ビス付サッシ=141円～146円、缶プレス=124円～129円。

錫は上伸

LME錫相場の直物は、前日の1万9,162.50ドルより112.50ドル高の1万9,275.00ドル。3か月物も、前日の1万9,075.00ドルより137.50ドル高の1万9,212.50ドル。

鉛は下落

LME鉛相場の直物は、前日の2,078.00ドルより65.50ドル安の2,012.50ドル。3か月物も、前日の2,094.50ドルより68.00ドル安の2,026.50ドル。

亜鉛は反発

LME亜鉛相場の直物は、前日の2,627.50ドルより25.00ドル高の2,652.50ドル。3か月物も、前日の2,595.50ドルより22.00ドル高の2,617.50ドル。

アルミは統落 アルミ合金も統落 北米特殊アルミ合金も統落

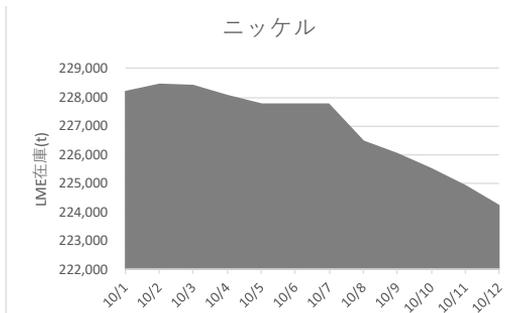
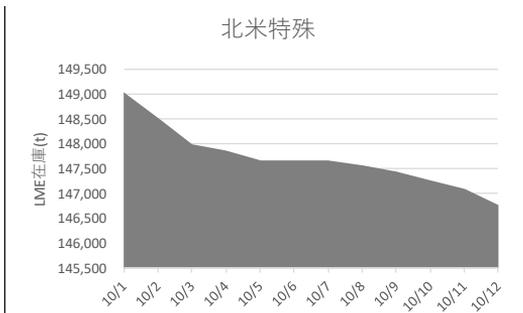
LMEアルミ相場の直物は、前日の2,021.50ドルより3.75ドル安の2,017.75ドル。3か月物も、前日の2,023.75ドルより0.50ドル安の2,023.25ドル。LMEアルミ合金相場の直物は、前日の1,365.00ドルより10.00ドル安の1,355.00ドル。3か月物も、前日の1,425.00ドルより15.00ドル安の1,410.00ドル。LME北米特殊アルミ合金相場の直物は、前日の1,477.50ドルより12.50ドル安の1,465.00ドル。3か月物も、前日の1,520.00ドルより15.00ドル安の1,505.00ドル。LME公認倉庫のアルミニウム在庫量は、前日のおよそ99万7,000トンより約8万6,000トン増のおよそ108万3,000トン。8月下旬の水準。

ニッケルはまちまち

LMEニッケル相場の直物は、前日の12,440.00ドルより2.50ドル安の12,437.50ドル。3か月物は、前日の12,477.50ドルより47.50ドル高の12,525.00ドル。

LME公式値（単位：ドル）／10月17日（現地）

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公式値	6,248.50	19,275.00	2,012.50	2,652.50	2,017.75	1,355.00	1,465.00	12,437.50
	前営業日比	46.75	112.50	▲ 65.50	25.00	▲ 3.75	▲ 10.00	▲ 12.50	▲ 2.50
先物	公式値	6,246.00	19,212.50	2,026.50	2,617.50	2,023.25	1,410.00	1,505.00	12,525.00
	前営業日比	34.00	137.50	▲ 68.00	22.00	▲ 0.50	▲ 15.00	▲ 15.00	47.50



海外非鉄金属相場

(10月18日 入電・現地 10月17日)

1 ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns for metal types (銅 A G, 錫 H G, 鉛, 亜鉛 S H G, アルミ H G, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル) and rows for current prices, previous day, and first bid.

NY コメックス相場

出来高: 1 ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table showing NY Comex prices for Copper, Gold, Silver, Platinum, and Palladium with various contract terms (10月限, 11月限, etc.).

採算価格

フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table for procurement prices (採算価格) comparing LME and COMEX prices for various metals in different currencies.

フリー・マーケット

■米国生産者価格

Table for US producer prices for Copper and Silver.

■NY相場

Table for NY market prices for Copper and #2 Copper Wire.

■ロンドン相場(ドル)

Table for London market prices for various metals like Gold, Antimony, Bismuth, Cadmium, Indium, Selenium, etc.

■K L T M 錫 (Mドル/キロ、出来高トン)

Table for K L T M Tin prices showing exchange rates and market prices for 17th and 18th days.

L M E 在庫(トン)

Table for LME inventory levels for Copper, Tin, Lead, Zinc, Aluminum, and Nickel.

コメックス銅在庫(トン)

Table for Comex Copper inventory levels.

上海在庫(トン)

Table for Shanghai inventory levels for Copper, Aluminum, Zinc, and Lead.

NYカーブ

Table for NY Curve prices for Copper and Aluminum.

上海相場

Table for Shanghai market prices for Copper, Aluminum, Zinc, and Lead with contract terms.

